

- ・第4回淀川舟運活性化協議（R6. 2. 15）にて提示したR6年度社会実験（案）を踏まえて、下記の社会実験の実施を予定。

No.	名 称	概 要	コース・船着場	対 象	時 期	実施主体
①	緊急用船着場 を活用した防 災訓練 ⇒9/3実施	災害時を想定した緊急用船着 場を利用した緊急物資等の運 搬の検証 ※大阪880万人訓練と合同開催	伝法大橋付近→新北野	関係者	R6.9.3	整備局 大阪府 淀川区 舟運事業者
②	万博会場輸送シ ミュレーション 社会実験 ⇒R5実施済	万博開催時における海船・川 船乗換施設を経由した来場客 輸送の検証 ※R5年度の実験で技術的な課題を 確認。R6年度は舞洲からの実証実 験を想定したが、夢洲栈橋整備の 遅れがあり、未実施	中之島ゲート→夢洲→仮 設乗換施設（伝法）→新 北野	関係者 モニター	未定	整備局 運輸局 舟運事業者
③	万博開幕6ヶ月 前舟運イベント ⇒10/13実施	淀川沿川のイベントを観光船 やアクティビティにより一気 通貫で繋ぐイベント	八軒家⇔佐太⇔鳥飼⇔枚 方⇔背割堤(八幡市)⇔伏 見港(京都市)⇔宇治	一般 モニター	R6.10.13	舟運活性化協議会 民間事業者 後援：博覧会協会
④	万博開幕1ヶ月 前舟運イベント	大阪湾～京都までの航路開通 記念として、淀川沿川のイベ ントを観光船やアクティビ ティにより一気通貫で繋ぐイ ベント	淀川大堰閘門及び十三船 着場を経由コースに追加	一般 モニター	R7.3.16 (予定)	舟運活性化協議会 民間事業者 後援：博覧会協会
⑤	淀川舟運を活か した賑わいづく り実証事業 ⇒10/13 11/28実施	「淀川舟運を活用した賑わい づくり」の定着を目指したモ ニターツアーの実施	枚方⇔背割堤⇔伏見 ※船着場を中心とする各 地域の観光資源を巡るツ アーをあわせて実施。	関係者 モニター	R6.11頃	近畿運輸局 舟運事業者

①緊急用船着場を活用した防災訓練（9/3実施）

- 9月3日の大阪880万人訓練の日にあわせて、「大規模地震発生後における災害対応能力の向上」、「行政間の連携による支援・協力体制の強化」を目的に、近畿地方整備局、大阪府、大阪市が連携し舟運を活用した物資輸送訓練を実施しました。
- 訓練では、地震発災数日後の生活物資の輸送を想定し、市の地域防災計画の活動拠点の1つである新北野緊急用船着場で緊急物資の荷下ろし及びトラックへの積込を行い、防災拠点と想定した淀川区役所へ物資の運搬を行いました。
- 本訓練の結果を踏まえて、災害時の淀川舟運の活用計画や活用方法を取りまとめた「淀川舟運防災計画」（仮称）の作成に向けて取り組んでいきます。

■ 实施概要

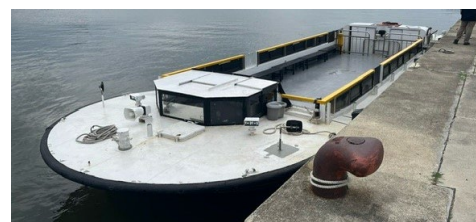
施日時 : 令和6年9月3日(月) 9:30～11:40
 参加者数 : 16名 (近畿地方整備局、大阪府、大阪市 (淀川区))
 報道関係 : 2社 (毎日放送、日刊建設通信新聞)
 その他 : 公明党 国重議員の視察あり

■ タイムスケジュール

9:30 大阪市中央卸売市場港で積込・出航
11:10 新北野緊急用船着場に到着、資材の車両
への積替
11:40 防災拠点（淀川区役所）到着・荷下



物資輸送ルート図



訓練で使った船舶（どうじま）

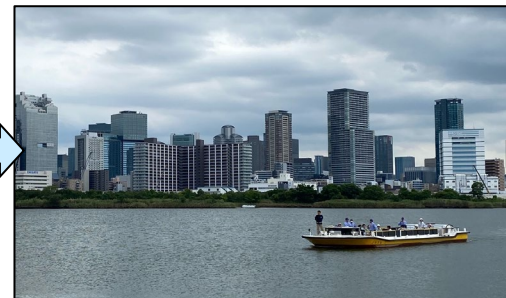


訓練で運搬する緊急物資（水、アルファ米）

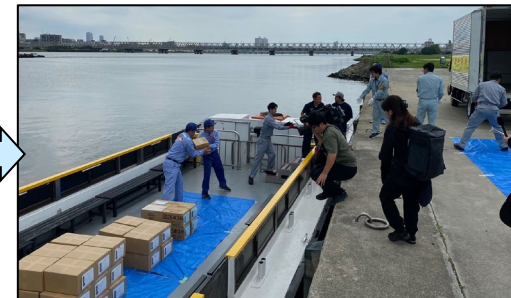
訓練の様子



①緊急物資の積込
(大阪中央卸売市場前港)



②緊急物資を輸送



③緊急物資の積下
(新北野緊急用船着場)



④トラックへの積込



⑤緊急物資の積下（淀川区役所）



国重議員も訓練の様子を視察

■大阪府、大阪市からの意見・コメント

- ・実際の災害時に莫大な物資を運搬・集積・配送するにはかなりの人員が必要であり、船着場についても広い面積が必要であるということが分かった。（大阪府）
- ・船着場へ運搬する物資の量によっては、許容される重量を超える可能性があり、集積・運搬の作業に一定の計画が必要になると考えられる。（大阪府）
- ・大阪市として船を使った物資輸送訓練は初めであり、具体的にどのように物資を輸送するのか分からない点もあったが、訓練を通してイメージが深まった。（大阪市）
- ・今回の物資輸送では、淀川区単独ではなくトラック協会との協定に基づいた対応など、大阪市との連携が重要であると認識した。（大阪市）

- 2025大阪・関西万博開幕6ヶ月前となる10月13日（日）に、淀川舟運活性化協議会（事務局：近畿地方整備局、近畿運輸局）において、淀川沿川各地のイベントを観光船や水上アクティビティで繋ぐ淀川クルーズFESTIVALを開催しました。
- 枚方船着場では、62年ぶりに復活する伏見航路を記念した「京都（伏見）航路復活セレモニー」として、沿川の6首長含む淀川舟運活性化協議会の構成員の登壇、万博後の淀川舟運の賑わいに向けた船上懇談会の開催、伏見へ向かう観光船の見送りを行いました。

■京都（伏見）航路復活セレモニー（枚方船着場）

日時：令和6年10月13日(日) 11:05～12:40

■出席者

近畿地方整備局長、近畿運輸局長、京都府知事（代理）、大阪府知事（代理）
京都市長（代理）、宇治市長、八幡市長、久御山町長、大阪市長、高槻市長（代理）
守口市長、枚方市長、寝屋川市長（代理）、摂津市長（代理）、島本町長（代理）
関西経済連合会会長（代理）、大阪商工会議所会頭（代理）
水都大阪コンソーシアム委員長、大阪水上安全協会会長、京阪ホールディングス(株)
代表取締役社長、阪急電鉄(株) 代表取締役社長（代理）

■タイムスケジュール

- 11:05 セレモニー開始
(吹奏楽演奏、整備局長・両副知事・枚方市長による挨拶)
- 11:25 記念撮影（枚方船着場 大型船ひまわり前）
- 11:35 船上懇談会（大型船ひまわり）出航（枚方船着場）
- 12:35 京都（伏見）向け観光船出航（枚方船着場）



近畿地方整備局長 挨拶



京都府副知事 挨拶



大阪府副知事 挨拶



枚方市長 挨拶



ミyakumyakkuも登場



大阪市長とミyakumyakkuがお見送り



船上懇談会の様子

■その他、淀川沿川のイベントの様子



水の都パビリオン（八軒家浜）



枚方まつり（枚方市駅前）



クルーズ船ひまわり内の様子（枚方船着場）



伏見港へ観光船が初めて着岸（伏見船着場）

- 近畿運輸局では中型船の運航が可能となった枚方～伏見において、観光コンテンツの商品化を目指した実証事業を行っています。
- 「淀川舟運」と「地域の魅力的なコンテンツ」を組み合わせたモデルコースの検討を行い、その検証のためのモニターツアーを実施しました。
- 今後は、有識者会議等を開催し、ツアー商品の販売促進に向けた議論を進める予定です。

■第1回モニターツアー（淀川クルーズFESTIVALにあわせて実施）

日時：令和6年10月13日(日) 10:00～15:00

■実施概要

沿川の賑わいイベントと連携したクルーズについて検証。

江戸時代に、淀川舟運（三十石舟）を使って運ばれた伏見の酒の流通をたどり、日本の伝統芸能を体験しながら、風景を楽しむクルーズを実施。

■タイムスケジュール（下りコース）

10:00 伏見のまち歩き～月桂冠大倉記念館見学・試飲体験

11:00 十石船にて伏見船着場へ移動。伏見港歓迎イベント（昼食）

12:25 旅装束を着て和文化体験クルーズ（伏見～背割堤～枚方）



伏見まちあるき（寺田屋前）



月桂冠記念資料館で試飲体験



キッチンカーで昼食



伏見船着場まで十石船で移動



乗船中は旅装束で



龍谷大協力歓迎イベント

■コメント・モニターの意見

和文化（酒・舟歌・三味線・和太鼓）の組み合わせが良かった。

旅装束は気分が盛り上がり、いい感じだった。

沿川の風景・歴史・文化の解説を充実させれば、満足度が上がると思う。

■第2回モニターツアー（伏見～枚方 沿川カルチャークルーズ）

日時：令和6年11月28日(木) 10:00～15:00

■実施概要

沿川のイベントがない平常時のクルーズについて検証。

老舗和菓子店によるお茶席を体験して、沿川の歴史や文化を学びながら、風景を楽しむカルチャークルーズを実施。

■タイムスケジュール

10:30 さくらであい館にて「やわた走井餅」当主によるお茶席体験

12:30 カルチャークルーズ（背割堤周遊）

13:45 参加者との意見交換会



走井餅の制作過程を見学



沿川の歴史文化の解説



できたてのお菓子でお茶席体験



背割堤から乗船



船内 淀川兩岸一覽 紙芝居



ツアー参加者との意見交換会

■コメント・モニターの意見

「和菓子」と「お茶」を一緒に楽しみながら、やわた走井餅の作法や文化に触れることで、日本ならではの精神を感じる体験ができた。

カルチャークルーズは、興味深いものであったが、外国人には内容が難しく感じるため、外国人にはもう少し注釈が必要。

観光庁「地域観光新発見事業」
「万博会場（夢洲）周辺と市内中心部を結ぶクルーズ観光の社会実験」実施概要

事業概要	2025年大阪・関西万博の会場となる夢洲には栈橋が設置され、水上交通によるアクセスが可能である。万博をきっかけとして、大阪市内中心部と臨海部の観光資源のそれぞれを水上交通でつなぎ、観光周遊性を高める取り組みを強化する。特に、移動時間を楽しむ魅力的な船内コンテンツを充実させたクルーズ商品を開発する。万博開催時の水上交通をアピールするとともに、周辺観光も交えた水都大阪ならではの魅力に光をあてる。
実施体制	実施主体：水都大阪コンソーシアム（大阪商工会議所、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局、大阪シティクルーズ推進協議会で構成） 協力団体：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、オンライントラベル株式会社
実施期間	2024年10月12日（土）～10月13日（日） 2日間
実施エリア	大阪市内河川（東横堀川、大川、堂島川、安治川、尻無川、天保山運河）～万博会場となる夢洲周遊を含むベイエリア 本町橋船着場、八軒家浜船着場、中央卸売市場前港、ユニバーサルシティポート等
特 徴	・万博会場までの移動時間を楽しめるよう、バルーンアート等の船内エンターテインメントや、船内ガイド、ガイドマップや案内動画等の船内コンテンツの提供 ・サップ等の水辺の観光資源・食事との連携により水都大阪の魅力にふれるクルーズツアーの造成
成 果	・ほぼ乗船定員となる約480人参加。 ・メディア向け事前取材クルーズも実施。テレビ大阪、読売新聞、日経新聞、サンスポチャンネル（WEB）にて報道。 ・万博期間にも活用できるクルーズクーポン、バルチケットの仕組み作り。



バルーンアート等の船内コンテンツの提供



ユニバーサルシティポートからの海船乗船



夢洲を眺める参加者